

広報 **えびな**

編集・発行

海老名市役所 市長室

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

世帯と人口

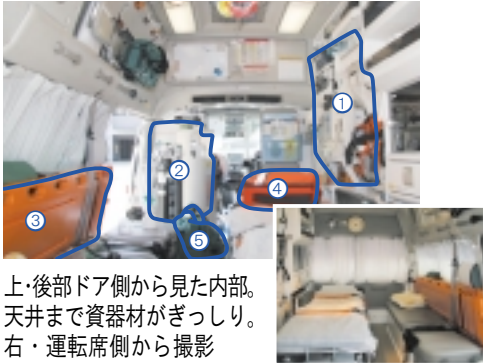
8月1日現在・()内対前月比

世帯 47,673 (△ 29)

人口 124,089人 (△ 55)

男 63,107人 (△ 49)

女 60,982人 (△ 6)



上・後部ドア側から見た内部。天井まで資器材がぎっしり。右・運転席側から撮影



① 測定機器。左が心電図モニター、右のオレンジ色の機械は除細動器（心臓に電気ショックを与える）。右上に点滴用薬剤が備えられている。② は酸素ポンプ



肺などの異常が疑われる場合は、聴診器で呼吸音を確認する

③ バックボード(全身固定用の器具)。「せき髄損傷などの疑いがある傷病者は、頭・胸・腰・ひざの4カ所を止め具で固定して、症状の悪化を防ぎます」



9月9日は救急の日 救急車の装備 ご案内します



案内人は—

天野孝消防司令
平成8年、救急救命士の資格を取得。現在市消防本部消防署の救急小隊長。

消防署

☎231・0355



講習ではAEDの使用法も習得

「救急車は多くの機能を持っていますが、やはり一番重要なのは、救急隊が到着するまで救命手当を行うことだと現場に行くたび実感します。これだけで患者さんの救命率が手当てを行わないときより確実にアップするんですよ」と天野さん。私たちは、いっどこで突然のけがや病気に襲われるか予測できません。特に、心臓や呼吸が停止している傷病者の命を救うには「現場に居合わせた人の迅速な通報と応急手当」救急隊による高度な救急救命処置と迅速な搬送↓医師による「医療処置」のスムーズな連携が欠かせません。これを「救命の連鎖」と呼んでいます。

救命手当には、①気道確保 ②人工呼吸 ③心肺蘇生法、AED(※)による除細動 ④異物の除去 ⑤止血の5種類があります。市消防本部で

人工呼吸・心臓マッサージ… 決め手は救命手当

講習会に参加しよう

④ 気管挿管用器具一式。「医師の指示を受けて、気管にチューブを入れてます。呼吸ができるように気道を確保するために使います」



⑤ 救急バッグ。「現場に到着したら、まずこのかばんを持って傷病者の所へ行きます。血圧計や呼吸管理セットなど、一通りの処置ができる資器材が入っています」



救急隊からのお願い

市消防本部では、救急車3台を配備して出動要請に対応していますが、同時に数件の救急要請を受けることがあります。この場合には到着に時間がかかることがあります。みなさんのご理解をお願いします。また到着が遅れる恐れのあるときや傷病者が重症の場合には、最寄りの消防署の消防ポンプ車を駆けつけて、応急救置を行うこともあります。

は、市内在住在勤の中学生以上を対象に、前記①～⑤を内容とする「普通救命講習Ⅰ」を毎月1回実施しています。ぜひご参加ください(日程は本紙の毎月15日号5面右下に掲載)。救命手当の方法を知って、いざというときに備えましょう。
*AED(自動体外式除細動器:心臓に電気ショックを与える機器)

ドクターヘリも活躍中



臨時ヘリポート(上星小学校校庭)に到着したドクターヘリと救急車。救急隊から医師に引き継ぐ

市では、平成14年7月からドクターヘリによる救急搬送を行っています。ドクターヘリとは、医師と看護師が同乗するヘリコプターのことです。一刻を争う症状の重い傷病者を、医師が処置を続けながら救命救急センターへ搬送します。これにより、治療開始時間が早められ、救命率・機能回復率の向上が期

待できます(8月1日までの出動回数は延べ82回)。出動要請は、119番通報で救急出動した救急救命士が行い、傷病者を直近の臨時ヘリポートまで搬送して、ドクターヘリの医師に引き継ぎます。市内には5カ所の臨時ヘリポートが指定されていますが、主に消防署南分署と上星小・中新田小のグラウンドの3カ所を使用しています。周辺にお住まいの方には騒音や砂煙などで迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

感染防止衣。「傷病者が出血しているときや、感染が疑われる場合などに着用します。上着には、はつ水性通気性のある素材が使われています。マスク、手袋のほか、目からの感染を防ぐためにゴーグルも装着します」



このほか…



車両右後部の外側には破壊用具。「交通事故でけが人が車から出られないときなどに、窓ガラスを割ったり、シートベルトを切ったりします」